

# SDGs CLUBができました

日本ユニセフ協会は、親子で学べるSDGsサイト「SDGs CLUB」をオープンしました。

ここには人類がこの地球で暮らし続けていくために、2030年までに達成すべき17の目標、169のターゲットが掲載されています。

目標ごとの代表的な課題に関するデータや動画の紹介、また、SDGsができるまでの歴史を知ることができます。

家族や友人と話し合いながら見ると、自分のできることを発見できるかもしれません。

SDGsをナビにして、未来のことを考えてみましょう。

日本ユニセフ協会ホームページ [ <https://www.unicef.or.jp/kodomo/sdgs/> ]

## SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



### 絵本のご案内

#### ユニセフとえがおのひみつ

文：日本ユニセフ協会  
絵：くりはら じゅんこ

お問い合わせ

日本ユニセフ協会学校事業部  
TEL:03-5789-2014

「幼稚園・保育園～小学校低学年の子どもを対象とした絵本「ユニセフとえがおのひみつ」が完成しました！実在する子どもたちをモデルに、世界の子どもたちの現状や、みなさんからのユニセフ募金が、どのような支援につながっているのかを絵本を通して学ぶことができます。ユニセフが支援現場で使っている、子どもの栄養不良を測定する「上腕計測メジャー（実寸大）」もついています。栗原淳子さんの描くあたたかな絵とともに読み聞かせなどでご利用ください。



### ユニセフ募金報告

2021年1月～12月：宮城県ユニセフ協会預かり

2020年に宮城県ユニセフ協会へ寄せられた募金は、**9,663,274円**でした。

#### <一般募金>

向陽台小学校、(学)仙台こひつじ学園認定向山こども園、南小泉小学校、前谷地小学校かさまつ児童会、船岡小学校、角田中学校、飯野川小学校児童会、大野田小学校、富永小学校さくらんぼ児童会、志波姫中学校、立町小学校、向陽台小学校ひまわり児童会、南小泉小学校いずみ児童会、浅水小学校、利府中学校福祉委員、鹿折小学校、蔵王町立宮小学校、聖ドミニコ学院小学校、宮城県仙台二華高等学校英語部、五橋中学校、蔵王町立宮小学校なかよし学級いきいき学級、(株)河北新報社、単電気(株)、マルハニチロ(株)、宮城一般労働組合みやぎ生協支部、みやぎ生活協同組合、(株)豊栄堂印刷所、鍼灸院ホリスティック杏、ガールスカウト宮城県連盟

#### <新型コロナウイルス緊急募金>

みやぎ生活協同組合

(敬称略・順不同)



▲ガールスカウト宮城県連盟



▲聖ドミニコ学院小学校

他にも、多くの個人のみなさまから温かいご支援をいただきました。ありがとうございました。

### 宮城県ユニセフ協会

月曜～金曜日 10:00～17:00

〒981-3194 仙台市泉区八乙女4-2-2 みやぎ生協A棟3F  
Tel 022-218-5358 Fax 022-218-3663  
E-mail:sn.municef\_miyagi@todock.jp  
URL <https://www.unicef-miyagi.gr.jp>



### 郵便局(ゆうちょ銀行)ユニセフ募金口座のご案内

振替口座：00190-5-31000  
加入者名：公益財団法人日本ユニセフ協会  
通信欄に「K1-040 宮城県ユニセフ協会」と記入  
※窓口からの送金は手数料がかかります

# UNICEF NEWS in みやぎ

unicef  
for every child

2021.6 Vol.93

## 新型コロナウイルス 新規感染者の半数を占める南アジア

新型コロナウイルス感染症のパンデミックは、この数十年間で遂げてきた南アジアの子どもたちの保健や教育、その他の進歩を覆しつつあります。パンデミックの第1波では、南アジアの22万8,000人の子どもと1万1,000人の母親が、必要不可欠な保健・医療サービスの中断により死亡したと推定されています。

約20億人の人口を抱える南アジアは、世界で報告されている新規感染者数の半分以上を占めていて、1秒に3人以上が新たに新型コロナウイルスに感染しています。さらに、この地域の死亡率は急激に上昇しており、毎分3人以上が新型コロナウイルスにより命を落としています。

5月18日、インドでは、新型コロナウイルスによる1日あたりの死亡者数が過去最多の4,529人を記録し、隣国のネパールでは陽性率が47%にのぼりました。スリランカとモルディブでは、新型コロナウイルスの症例数と死亡者数が連日のように過去最多を記録し、モルディブの首都にある病院はフル稼働に達しています。バングラデシュ、パキスタン、アフガニスタン、ブータンでも同様に、圧倒的な急増に直面する可能性があります。

ユニセフ・南アジア地域事務所代表のジョージ・ラリア・アジェイは「今回の新型コロナウイルス急増の規模とスピードは、各国の救命治療の能力を上回っています。病院は人々に溢れかえり、酸素やその他の重要な医療物資も不足しており、脆弱な医療システムの崩壊という現実的なリスクがあります」と述べました。

(2021年5月21日 日本ユニセフ協会ホームページより)



©UNICEF\_UN0458773\_Nepal

インドからネパールへ帰国した家族。南部のパルサにある入国地点で、体温チェックや抗体検査を受けた後に、必要に応じて一定期間を出身地域の隔離センターで過ごす。(ネパール、2021年5月5日撮影)

### 南アジア地域

ユニセフが指す南アジア地域に含まれる国は、アフガニスタン、バングラデシュ、ブータン、インド、モルディブ、ネパール、パキスタン、スリランカです。

## 新型コロナウイルス感染症緊急募金にご協力ください。



©UNICEF\_UNI313299\_Matas

新型コロナウイルス感染症は、世界中で約1億5,800万人の感染が確認され、320万人以上が命を落としています(5月10日時点：WHO状況レポートより)。パンデミック宣言から約1年。この間、途上国の子どもたちを取り巻く環境は急速に悪化しました。医療現場への負担の集中や、多くの医療従事者の罹患などにより、低所得国では提供される保健サービスが50%も減少。母子栄養サービスも著しく減少しています。さらに、もともと困窮状態にあった多くの家庭にとって頼みの綱であった学校給食も休校措置のため中断、3億人以上の子どもの栄養状態を脅かしています。このままワクチンが届かず、

子どもを守るシステムが圧迫され続ければ、何百万人もの幼い命が危機にさらされます。最も弱い立場の子どもたちをこれ以上犠牲にしないために、ワクチンの普及による一日も早い社会の正常化が求められています。(募金先は日本ユニセフ協会のホームページをご覧ください)

## 2020年宮城県ユニセフ協会25周年企画を開催しました

宮城県ユニセフ協会は1995年に設立して以来、2020年に25周年を迎えることができました。今日まで活動をご支援くださっている皆様に深く感謝申し上げます。

2020年度は新型コロナウイルス感染症の影響でさまざまな制限がありましたが、感染防止対策を取りながら活動しました。

9月、10月と、宮城県ユニセフ協会25周年企画として、絵本作家・真珠まりこさんによるパネル展「もったいないばあさんのワールドレポート展～地球の問題と世界の子どもたち～」と、講演会「もったいないばあさんのワールドレポート」を開催しました。

### パネル展 もったいないばあさんのワールドレポート展 ～地球の問題と世界の子どもたち～

開催期間：2020年9月23日～9月30日

開催場所：県内3か所（みやぎ生協加賀野店、みやぎ生協榴岡店、みやぎ生協大河原店）

#### 感想

日本の子ども達に想像もつかないような環境にいる世界の子どものことを常に頭に置いて、私に出来ることを一つ一つ探したいです。

子どもは生まれてくる国によってこんなにも生きる環境が変わってしまうものなのか。みんなが幸せになれる地球になって欲しいです。



©もったいないばあさんのワールドレポート展実行委員会

どの子ども達も幸せになる権利があるはず。子ども達の未来を明るくする為にも自然物も大切にすることを忘れず、助け合ひましょう。

### ユニセフのつどいみやぎ

2020年10月17日（土） 仙台市福祉プラザ



#### 講演会

「もったいないばあさんのワールドレポート～地球の問題と世界の子どもたち」

講師：絵本作家・真珠まりこさん

気候変動、森と生き物が消える問題、食料と水の不足、戦争、難民、児童労働、貧困、格差など今起きている地球上の全体像とそれに巻き込まれている世界の子どもの話が私たちの暮らしとどのようにつながっているのか、命の大切さを「もったいない」という言葉から伝えました。

真珠まりこさんの講演後、みやぎ生協地域代表理事 松木弥恵さんより「東ティモールにおける新生児と母親のためのコミュニティ保健ケア改善プロジェクト」の報告がありました。

#### 感想

「もったいないとは生かすこと」「命の大切さを伝えること」という言葉が心に沁みました。

海外に出られないこの時期で世界の話を聞くのは貴重でした。日本だけではない、地球を実感です。

真珠さんの「自分さえよければ」と思わず「分け合えばみんな幸せになる」という言葉が心に響きました。

世界の仕組みがお金ではなく、子どもたちの笑顔になるといいな、と思いました。

## 2020年その他の活動

### ◆「子どもの権利に関するパネル展」宮城県と共催

2020年5月18日（月）～22日（金）

宮城県庁1階ロビー

#### 「長谷部誠大使ロヒンギャ難民キャンプ訪問」

2019年6月、長谷部選手がバングラディッシュの難民キャンプを訪問しました。この訪問を通じ、人道危機への関心をあらためて呼びかけ、人々が未来を切り拓いていく支援の輪を広げていきます。

#### 「アフリカの子どもの物語」

故郷を追われ、様々な形態の暴力の犠牲になり、栄養不良や感染症に苦しみ、教育を諦めざるをえない子どもたち…

ユニセフの支援を受けた子どもたちの生活がどのように変わったのか、物語形式で伝えていきます。



©UNICEF/UNI179307/Lynch

### ◆ユニセフ写真展

「えがお・えがお」子どもにやさしい地球を残そう

2020年5～6月、11～12月

みやぎ生協文化会館ウイズ

### ◆ユニセフ学習会、出前講座など

◎ユニセフ学習会 みやぎ生協榴岡店こ～ぶ委員会

◎ユニセフ出前講座 仙台市立荒巻小学校4年生、名取市立ゆりが丘小学校6年生  
学校法人仙台こひつじ園認定向山こども園保護者向け  
動画配信に参加

◎募金贈呈式 蔵王町立宮小学校



「蔵王町立宮小学校なかよし学級・いきいき学級のみなさんから「命の畑」で収穫した野菜の売上金を募金していただきました。」

### ◆ボランティア学習会・ハンドインハンド

「外国コイン仕分け」のボランティア体験をしました。コロナ禍での開催方法についてみんなで考えました。

## 国際理解学習会「The future we want～私たちが望む未来～」を会場参加・オンライン参加で開催しました。

日時：5月8日（土） 10:30～12:00

会場：みやぎ生協文化会館ウイズ

講師：ケンタロ・オノ氏

キリバスにおける気候変動・地球温暖化が引き起こす人的側面の問題から、私たちが考えなくてはならないSDGsの課題を学びました。



●ケンタロ・オノ

一般社団法人日本キリバス協会代表理事

2020年「令和元年度宮城県ストップ温暖化大賞」受賞第一号、2020年「令和2年度気候変動アクション環境大臣表彰」初代受賞者。

#### 感想

世界的にキリバスが危機的状況であることは知識として知っていたが、世界中の無関心が影響していると思った。小さなキリバスの子どもたちの瞳をみて一人一人が関心を持つことが大切だと思った。

地球温暖化がもうすでにこんなにも様々な面で影響が出始めていると改めて気付かされました。自分の行動を見直さなくては行けないと強く思いました。

キリバスは全然CO<sub>2</sub>を排出していないのに沈んでしまうかもしれない、故郷がなくなってしまうかもしれないという想像を絶するような苦しみに立たされるなんて絶対おかしいと思いました。

キリバスの歴史や日本とのかかわりを知ることができ、身近な国と感じました。同時に世界のパワーバランスや日本を含む先進国の産業の影響を受け続けるキリバスをはじめとする国々に申し訳ない気持ちでいっぱいになりました。



私たちが望む未来  
= The Future We Want =

（一社）日本キリバス協会代表理事  
（前在日本キリバス共和国名誉領事・大使顧問）  
ケンタロ・オノ

## 宮城県との共催で「子どもの権利に関するパネル展」を開催しました。

会場：宮城県庁1階ロビー

期間：5月17日（月）～5月21日（金）

展示パネル：「長谷部誠大使のギリシャ難民キャンプ訪問」  
「アグネス大使ニジェール訪問」



## これからの活動

### 夏休み親子ボランティア体験 ～外国コイン仕分け活動～

ユニセフの活動を学んだあと、コイン仕分けのボランティア体験をします。

●7月31日（土）10:00～12:00 ●みやぎ生協文化会館ウイズ ●研修室 募集人数 親子10組（20人）

### ユニセフ映画上映会

#### 「存在のない子供たち」

2018年/レバノン・フランス/125分

長期間の戦争・内戦による貧困や移民の問題を抱える中東で生まれた男の子は、出生届を出されなかったせいで社会に存在していない状況にあります。誕生日も知らず、学校に通うこともなく、劣悪な児童労働環境にある子どもが「僕を生んだ罪」で両親を訴えます。レバノン出身の女性監督の映画。



(C)2018 MoozFilms

●日時：10月22日（金）  
1回目 10:00～12:20 2回目 14:00～16:20  
●会場：せんだいメディアテーク 7F スタジオシアター  
●募集人数 60人

どちらも近くなりましたら宮城県ユニセフ協会ホームページ等でご案内します。

